

# 「第2次県立特別支援学校整備計画（案）」を公表

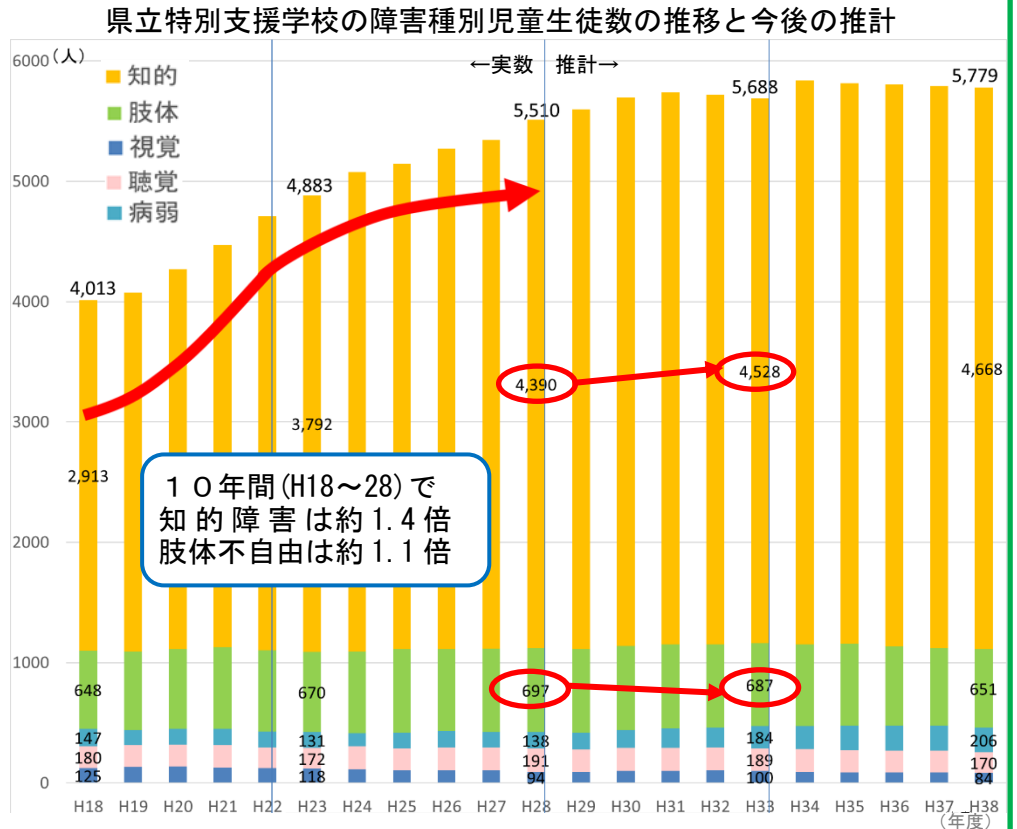
「第2次県立特別支援学校整備計画」は、「第2次千葉県特別支援教育推進基本計画」と合わせ、千葉県の特別支援教育の更なる充実を図るため、「県立特別支援学校整備計画」に続く計画として、県立特別支援学校の児童生徒の増加に伴う教室不足や施設の狭隘化等の過密状況への対応を計画的に進めるものです。平成29年度から33年度までの5年間の計画として、推計で763人に対応します。

平成19年前後から、特別支援学校に在学する児童生徒が増加しています。

平成23年に県立特別支援学校整備計画を策定し、過密状況への対応を進めてきました。

過密状況の解消または緩和が図られた地域がある一方で、引き続き対応を要する地域があります。

今後10年間の児童生徒数は、5,700人台を中心に推移する見通しです。



過密状況の著しい知的障害特別支援学校と肢体不自由特別支援学校について、現在の過密状況と今後の児童生徒の増加見込みを考慮して対応します。

### 対応策

- 県立学校及び市町村立学校の転用可能な校地・校舎等の活用
- 校舎の増築
- 通学区域の調整



【県立特別支援学校整備計画で、旧市町村立小中学校の校舎を活用した新設校】

千葉県教育委員会では、6月14日に「第2次県立特別支援学校整備計画（案）」を公表しました。つきましては、本計画の策定にあたりパブリックコメント（意見募集）を実施し、県民の皆さまの御意見を参考にしたいと考えております。詳しくは、下記のサイトを御覧ください。

### パブリックコメント(意見募集)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/cate/kt/kenminsanka/ikenboshuu/iken/>

